

令和8年度日本スポーツ協会公認

アスレチックトレーナー養成講習について

一般社団法人岐阜県卓球協会
事務局 宮島 潔

後述『令和8年度日本スポーツ協会公認アスレチックトレーナー養成講習会』の案内が届きました。

ご希望があれば、申し込みに必要な案内を送付しますので、岐阜県卓球協会事務局宮島までメールにて連絡をお願いします。

卓球協会ですとめて申し込み申請を行います。

<申し込み期限>

日本スポーツ協会締切・・・令和8年3月10日(火)

岐阜県卓球協会締切・・・令和8年3月3日(火)

一般社団法人岐阜県卓球協会
事務局 宮島 潔
携帯 080-6315-3204

E-mail table.tennis.gifu.association@gmail.com

令和 8 年度日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会
開催要項

1. 目的

公認スポーツ指導者制度に基づき、スポーツ活動中の外傷・障害予防、コンディショニングやリコンディショニング、安全と健康管理、および医療資格者へ引き継ぐまでの救急対応という 4 つの役割に関する知識と実践する能力を活用し、スポーツをする人の安全と安心を確保したうえで、パフォーマンスの回復や向上を支援する公認アスレティックトレーナーを養成する。

2. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)

3. カリキュラム

(1) 共通科目(150 時間:集合講習および自宅学習)

※公認スポーツ指導者養成講習会共通科目Ⅲ

1	グッドコーチ(日本スポーツ協会公認スポーツ指導者)に求められる人間力
2	グッドコーチに求められる医・科学的知識
3	現場・環境に応じたコーチング

(2) 専門科目(600 時間:集合講習および自宅学習)

1	JSPO-AT の役割	30 時間
2	安全・健康管理とスポーツ外傷・障害の予防	90 時間
3	コンディショニング	90 時間
4	リコンディショニング	90 時間
5	救急対応	60 時間
6	検査・測定と評価	30 時間
7	人体の解剖と機能	60 時間
8	スポーツ科学概論	90 時間
9	スポーツ医学概論	60 時間

(3) 現場実習(180 時間)

1	見学実習	30 時間
2	総合実習	150 時間

4. 実施方法

(1) 共通科目

(ア) 事前学習: リファレンスブックによる自宅学習および知識確認テスト(オンライン/リファレンスブック目次「1 章」「2 章」「3 章」それぞれ「正解率 60%以上」で修了)や共通科目Ⅲワークブックへの取組や課題提出を課す。

※集合講習会参加前に必ず事前学習をすべて完了すること。集合講習会参加前に事前学

習を完了しなかった場合、集合講習会へ参加できない。

(イ) 集合講習:令和 8 年 8 月から令和 8 年 11 月の間の 3 日間(会場への参集、オンラインの形態については参加する会場毎に異なる)で実施予定。

(ウ) 事後学習:リファレンスブック等による振り返り、現場実践を踏まえた課題の提出(オンライン)を行う。

※事前学習・集合講習で学んだ内容等に基づく課題を所定の期限までに取組み、レポートを作成・提出すること。

(2) 専門科目

(ア) 集合講習等:以下の通り実施予定。

	期日	形態
1 期講習会	令和 8 年 11~12 月(計 3 日)	集合形態または web 形態
2 期講習会	令和 9 年 3 月(計 6 日)	集合形態
3 期講習会	令和 9 年 5~6 月(計 3 日)	集合形態
実技確認テスト	令和 9 年 7~8 月(計 1 日)	集合形態
検定試験	検定試験実施要項にて案内	CBT(computer-based testing)

※集合講習会は、必ず 1 期から 3 期の順で受講しなければならない。なお、共通科目の受講状況に関わらず専門科目は受講することができる。

※1 期講習会終了後、2 期講習会参加前に知識確認テストを修了しなければならない。知識確認テストを修了しなかった場合、2 期講習会は参加できない。

※2 期講習会受講前に JSPO が定める一次救命処置(BLS)講習のいずれかを受講し、有効期間内の認定証を必ず提出しなければならない。

(イ) 自宅学習:各自でテキストを中心に補助教材を用いながら行う。

(ウ) 現場実習:本講習会受講者は免除する。

5. 受講条件

公認スポーツ指導者育成の受講者受入方針(アドミッション・ポリシー)に定める内容の他、以下受講条件に合致し、かつ JSPO が認めた者を本講習会の受講者として受け入れる。

(1) 令和 8 年 4 月 1 日現在、満 20 歳以上の者で、JSPO、JSPO 加盟団体(都道府県スポーツ協会、中央競技団体等)および JSPO が特に認める国内統轄競技団体(以下「加盟団体等」という。)から推薦され、受講者選考基準を満たす者。

(2) 受講有効期間内に講習の全日程に参加が可能である者。

(3) 受講内定後に、インターネットサービス「MyJSPO(指導者マイページ)

(<https://account.japan-sports.or.jp/signin>)から申し込みができる者。

6. 募集人数

100 名程度

7. 申込方法

受講希望者は所定の個人調書に必要事項を記載し、加盟団体等に提出する。

加盟団体等は、団体調書兼推薦書を作成し本人が記載した個人調書とともに JSPO へ定められた方法で提出する。

8. 受講者の内定から決定までの流れ

(1) 加盟団体等から提出された個人調書および団体調書兼推薦書に基づき、JSPO 指導者育成委員会アスレティックトレーナー部会(以下「AT 部会」という。)において活動実績等を審査のうえ、受講者を内定し、推薦を行った団体および本人宛に通知する。

(2) 受講内定者は、インターネットサービス「MyJSPO(指導者マイページ)

(<https://account.japan-sports.or.jp/signin>)」のアカウント登録手続きを行い、MyJSPO(指導者マイページ)から本講習会の申込手続きを行い、受講料を JSPO に納める。

※講習会受講時の本人確認に必要となるため、受講開始までに MyJSPO(指導者マイページ)への顔写真のアップロードを実施すること。

(3) JSPO において受講料の入金を確認した後、受講者として正式に決定する。

9. 受講料 110,000 円(税込:受講内定時に納入)

内訳:共通科目:22,000 円(税込)

専門科目:55,000 円(税込)

専門科目実技確認テスト:33,000 円(税込)

※テキスト代は別途必要となるが、形態によって料金が異なる。

共通科目:リファレンスブック代 電子版 2,640 円(税込)/紙版 3,300 円(税込)

専門科目:テキスト代 電子版 8,910 円(税込)/紙版 11,000 円(税込)

※検定試験受験料については後日案内する検定試験実施要項を参照。

※JSPO の過失等により特別に認められた場合を除き、納入された受講料について返金対応は行わない。

10. 受講有効期間

受講有効期間は、原則として受講が決定した年度の 4 月 1 日から、共通科目は 4 年間、専門科目は 5 年間とする。なお、共通科目の受講有効期間内に共通科目を修了できなかった場合、または専門科目の受講有効期間内に検定試験(基礎・応用両方)の合格まで至らなかった場合は、その時点で受講者としての権利と取得した単位(共通科目、専門科目ともに)すべてを喪失する。

11. 講習・試験の免除

既存資格および JSPO 免除・適応コースの履修等により、講習・試験の一部又は全部を免除することができる。免除に関する詳細は別に定める。

12. 検定試験

- (1) 共通科目は知識確認テストおよび事前・事後学習の課題提出、専門科目は知識確認テスト、実技確認テストおよび検定試験を実施する。
- (2) 共通科目における知識確認テストは一定以上の知識を有することを確認し、事前・事後学習の課題は JSPO において内容を審査する。
- (3) 専門科目における知識確認テストは一定以上の知識を、実技確認テストは一定以上の技術を有することを確認する。
- (4) 専門科目における検定試験は、専門科目集合講習会課程を全て修了(実技確認テストに合格)し、JSPO が定める BLS に関する資格を取得している者が受験できる。
- (5) 共通科目および専門科目の全ての課程を修了し JSPO 公認アスレティックトレーナーとして必要な資質能力を修得した者を「JSPO 公認アスレティックトレーナー養成講習会修了者」(「新規登録」対象者)として認める。

13. 登録および認定

- (1) 「新規登録」対象者には、公認スポーツ指導者登録規程に基づき、対象となった直近の認定の起算日(4月1日又は10月1日)での登録手続きの案内を送付する。
- (2) 登録手続き(登録料の納入等)を完了した者を JSPO 公認アスレティックトレーナーとして認定し、「認定証」および「登録証」を交付する。但し、JSPO 倫理規程第4条に違反する行為があったとして JSPO が認めた時は、登録の権利を失い認定されない場合がある。
- (3) 登録料は4年間で23,000～27,000円(基本登録料:【デジタル版^{※1}】13,000円/【印刷送付版^{※2}】17,000円+資格別登録料10,000円)とし、初回登録時のみ初期登録手数料3,300円(税込)が別途必要となる。但し、すでに公認スポーツ指導者資格を取得している場合は、登録料が異なる場合がある。
 - ※1 デジタル版—「Sport Japan」や「スポーツ指導者手帳」などすべての印刷物をデジタル化し、登録料の納入はクレジットカード等の電子決済
 - ※2 印刷送付版—各種の印刷物を郵送等で提供し、登録料は振込での納入が可能
- (4) 資格の有効期間は4年間とし、4年毎に更新する。ただし、JSPO 公認アスレティックトレーナー以外に JSPO 公認スポーツ指導者資格(スポーツリーダーは除く)が認定されている場合、初回の有効期間は、新規認定期日からすでに認定されている資格の有効期限とする。
- (5) 有効期間満了に伴う「更新登録」にあたっては、有効期限の6カ月前までに、JSPO の定める更新研修を受講し所定の単位を取得しなければならない。

14. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 受講者の個人情報は、以下の目的のために使用する。
 - ・本養成講習会の実施に関する連絡(資料の送付等)
 - ・受講状況の管理
 - ・その他アスレティックトレーナー関係業務

(2) 受講者の個人情報、受講者の推薦団体・者に提供する。また、提供を受けた団体・者において必要な情報(受講状況等)を付加する場合がある。

・提供先

受講者を推薦した団体・者

・提供の目的

受講状況の管理のため

・提供する項目

取得した全項目

・提供の手段

MyJSPO 管理システム、書面、口頭、電話、FAX、電子メールなどによる提供

(3) JSPO 個人情報保護方針は、以下の URL を確認すること。

<https://www.japan-sports.or.jp/privacy/policy.html>

15. 注意事項

- (1) 本講習会の受講有効期間内に他の JSPO 公認スポーツ指導者養成講習会の受講はできない。また、受講申込時点で他の JSPO 公認スポーツ指導者資格養成講習会の受講有効期間内又は未修了の場合は、本講習会への受講申込はできない。
- (2) 受講者の推薦に際し、加盟団体等は団体内の医科学委員会やアスレティックトレーナー協議会等の意見を十分に聴取した上、アスレティックトレーナーに関する担当委員会等において決定すること。
- (3) 同一人物が同一年度に複数の団体から推薦を受けた場合、一団体からの推薦のみを審査対象とする。なお、いずれの団体からの推薦を受理するかは AT 部会にて決定する。
- (4) 受講申込みから資格取得までの概要については別紙を参照すること。
- (5) 講習会(共通科目・専門科目)開催にかかる経費については、原則として JSPO が負担するが、受講者の旅費(宿泊費含む)に関する補助は行わない。
- (6) オンライン講習会参加に際し必要と考えられる機材(PC、スマートフォン、WEB カメラ、イヤホンマイク、インターネット環境、アプリケーションなど)やデータ通信料は受講者各自が準備・負担することとする。
- (7) 受講内定者が受講を辞退した場合、当該推薦団体から追加の内定は行わない。
- (8) 受講者としてふさわしくない行為(JSPO 登録者等処分規程等において違反行為と規定された行為)があったと認められた場合は、AT 部会において審査し、受講資格の取消しあるいは停止、受講済科目の一部ないしは全部の取消し、資格登録権利の停止等の処分を行う場合がある。なお、処分内容については、JSPO 登録者等処分規程等の関連規程に照らし合わせるとともに、受講状況等に応じて検討することとする。
- (9) 本講習会風景の写真等は、JSPO ホームページおよびその他関連資料へ掲載する場合がある。
- (10) 講習会の内容を録画・録音する等の行為は、JSPO が認めた場面を除きその一切を禁ずる。
- (11) 天災地変や伝染病の流行、講習会場・輸送機関等のサービスの停止、官公庁の指示等の JSPO が管理できない事由により、講習会内容の一部変更および中止のために生じた受講者の損害については、JSPO ではその責任を負わない。

(12) 手話通訳、要約筆記等の希望や受講にあたって支援や配慮が必要な場合は、受講申込時に JSPO 事務局まで申し出ること。申し出があった場合、個別の状況等に基づき、総合的・客観的に判断し、必要かつ合理的な対応を講じる。

なお、受講をキャンセルした場合で必要かつ合理的な対応のキャンセルに伴う費用が発生した場合は、当該受講者の負担とする。



私たちはスポーツ振興くじ助成を受けています。



私たちは、「スポハラ」のないスポーツ界を目指します。

令和 8 年度公認アスレティックトレーナー養成講習会
受講案内

1. 公益財団法人日本スポーツ協会（以下、「JSPO」という。）とは

JSPO は、1911 年 7 月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018 年 4 月 1 日、現在の名称となりました。

JSPO は、国民スポーツ大会や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や 60 を超える競技団体、47 都道府県スポーツ協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

2. 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（以下、「JSPO-AT」という。）とは

スポーツドクターをはじめコーチ等との緊密な協力のもとに、以下の 4 つの役割に関する知識と実践する能力を活用し、スポーツをする人の安全と安心を確保したうえで、パフォーマンスの回復や向上を支援する者のための資格です。

- 1) スポーツ活動中の外傷・障害予防、
- 2) コンディショニングやリコンディショニング、
- 3) 安全と健康管理、
- 4) 医療資格者へ引き継ぐまでの救急対応

JSPO-AT 養成講習会は、共通科目講習会と専門科目講習会で構成されており、両科目を修了後、所定の登録手続きを完了すれば資格が認定(4 年間)されます。受講有効期間は共通科目が 4 年間、専門科目が 5 年間です。

(例)今回(2026 年度)受講が決定した場合、2031 年 3 月 31 日までに全ての講習会(試験を含む)を修了する必要があります。

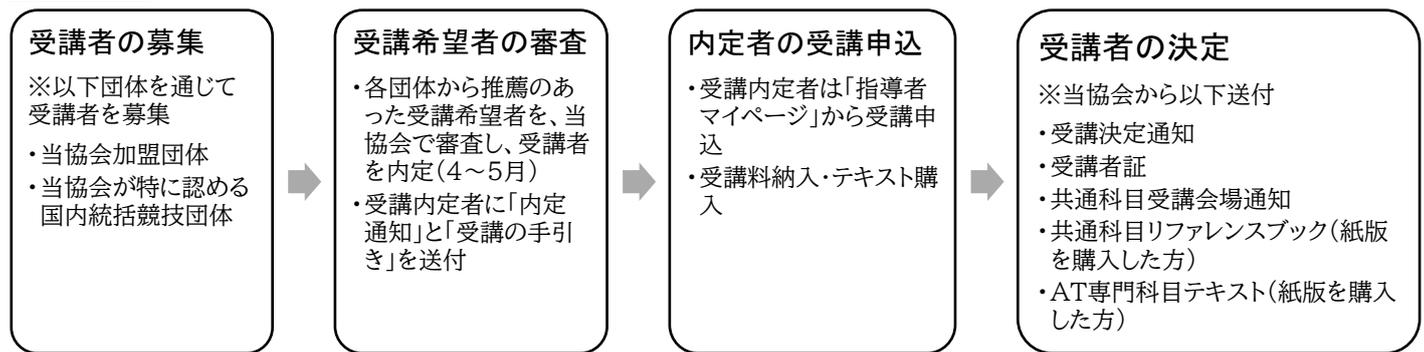


*養成講習会の様子



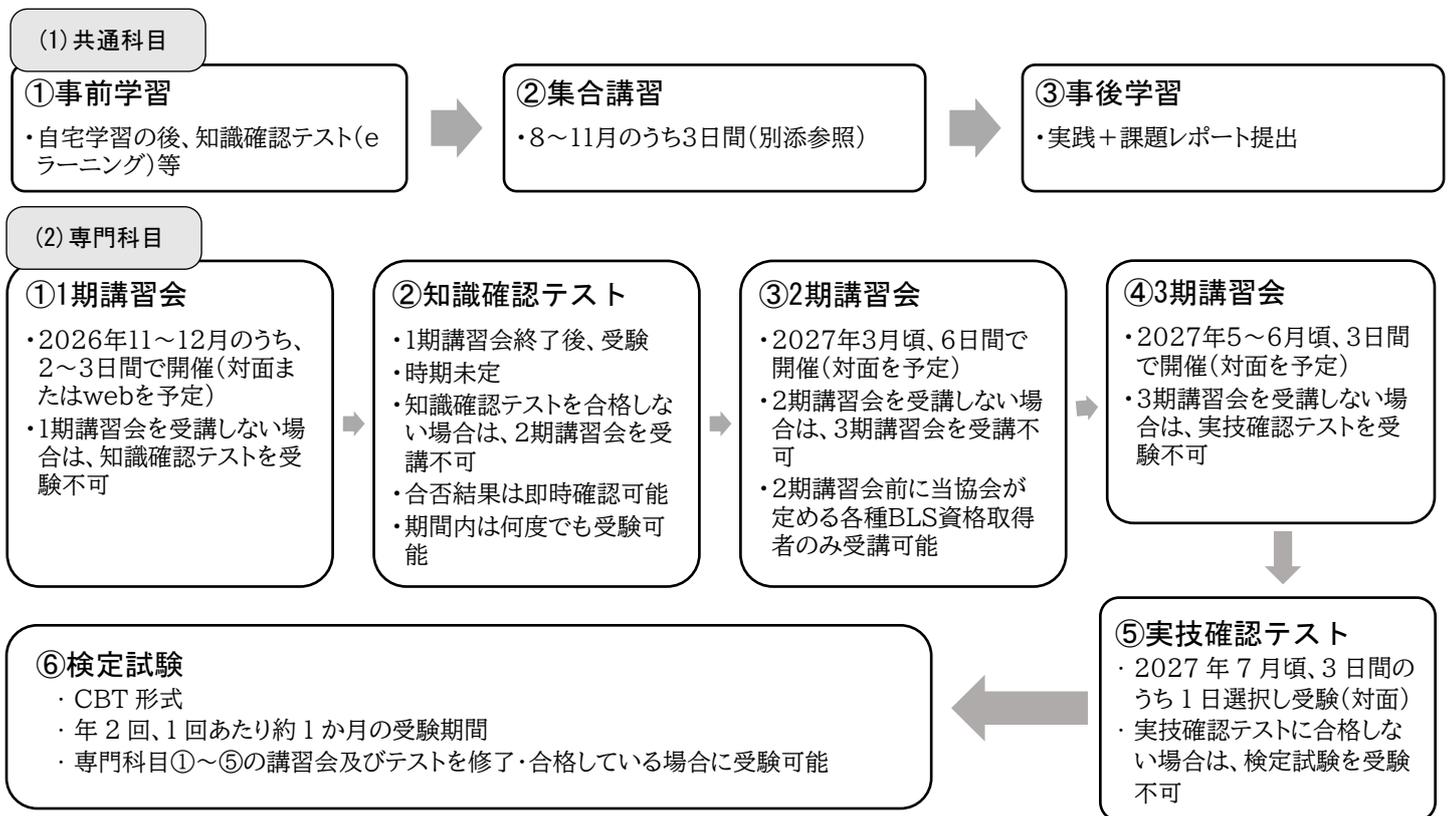
3. 受講者の募集～資格登録までの流れ

ステップ1 受講者の募集・決定

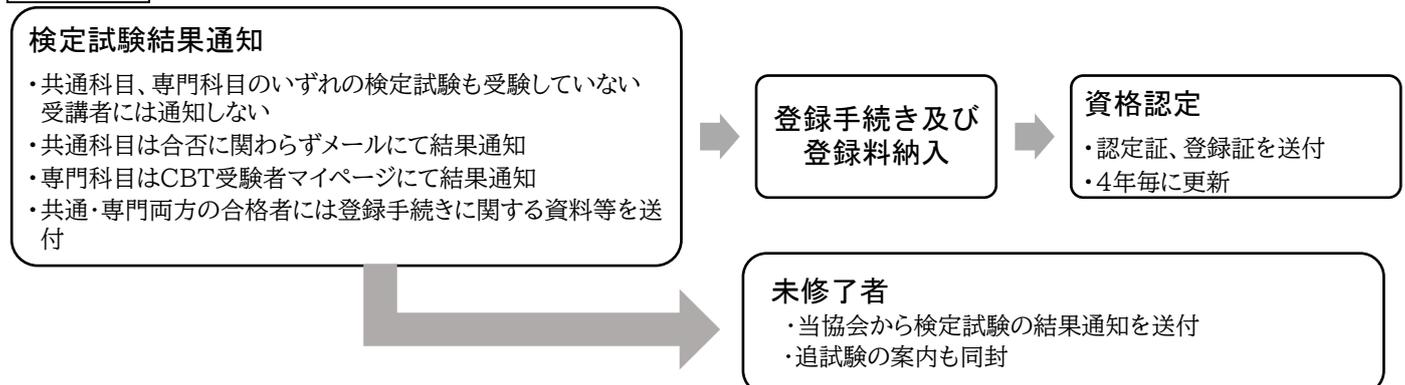


ステップ2 講習会受講・検定試験受験

- ・ 受講有効期間は、原則として受講が決定した年度の4月1日から、共通科目は4年間、専門科目は5年間。
- ・ 共通科目の受講有効期間内に共通科目を修了できなかった場合、または専門科目の受講有効期間内に検定試験(基礎・応用両方)の合格まで至らなかった場合は、その時点で受講者としての権利と取得した単位(共通科目、専門科目ともに)すべてを喪失する。
- ・ 共通科目、専門科目の受講の順は問わないが、専門科目は1期→2期→3期の順で受講すること。



ステップ3 登録手続き・資格認定



令和8年度 共通科目Ⅲ 講習会 受講会場一覧

都市	会場番号	期 日			会場
東京	第 1 会場	8月7日(金)	8月8日(土)	8月9日(日)	ベルサール九段 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10住友不動産九段ビル3・4F
	第 2 会場	9月4日(金)	9月5日(土)	9月6日(日)	ベルサール九段 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10住友不動産九段ビル3・4F
	第 3 会場	10月16日(金)	10月17日(土)	10月18日(日)	ベルサール九段 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10住友不動産九段ビル3・4F
	第 4 会場	10月23日(金)	10月24日(土)	10月25日(日)	ベルサール九段 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10住友不動産九段ビル3・4F
	第 5 会場	11月6日(金)	11月7日(土)	11月8日(日)	ベルサール九段 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10住友不動産九段ビル3・4F
名古屋	第 6 会場	8月21日(金)	8月22日(土)	8月23日(日)	TKP名古屋駅前カンファレンスセンター 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-41-5 CK20名駅前ビル 5階・6階・8階
大阪	第 7 会場	9月12日(土)	9月13日(日)	9月14日(月)	ホテルマイステイズ新大阪カンファレンスセンター 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19
	第 8 会場	11月21日(土)	11月22日(日)	11月23日(月・祝)	ホテルマイステイズ新大阪カンファレンスセンター 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19
福岡	第 9 会場	11月13日(金)	11月14日(土)	11月15日(日)	福岡県中小企業振興センター 〒812-0046 福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15
オンライン	第 10 会場	10月2日(金)	10月3日(土)	10月4日(日)	ZOOMにて実施

共通科目Ⅲ 講習会 基本日程表(予定)

	1日目	2日目	3日目
8:40		受付(8時40分～)	受付(8時40分～)
9:00	※オンライン会場は9時講義開始、 18時講義終了予定です。	場づくり	場づくり
9:30	受付・入場開始(9時30分～)	効果的な計画づくり 効果的なトレーニングづくり 試合でのベストパフォーマンスを導くコンディショニング	コーチ自身の幸福について考えてみよう
9:50	事務連絡・JSPO挨拶等		
10:00	オリエンテーション(場づくり&自己紹介、コーチング哲学)		理想のコーチ像を検証する
10:30			
11:00	プレーヤーズセンタードと4つのアプローチ		
12:00	休憩	休憩	休憩
13:00	プレーヤーズセンタードと4つのアプローチ セーフスポーツを実現するために	よりよいコーチング環境を整える 客観的根拠に基づくコーチングを実しよう	コーチの成長計画を立てる
14:00			
15:00	対人関係の問題を解決していくスキルを向上させる コーチングセッションの運営力を高めよう	求められるコーチの資質能力	3日間の振り返り 講義終了(16時30分)
16:00			
16:30			
17:00		成長計画の見直し	
18:00	成長計画の見直し	2日目の振り返り 講義終了(18時30分)	
18:30	1日目の振り返り 講義終了(19時00分)		
19:00		※この基本日程表は予定のため、変更となる場合があります。	

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会
新規受講者選考・評価基準

I. 選考・評価基準

日本スポーツ協会指導者育成委員会アスレティックトレーナー部会（JSP0-AT 部会）は、本講習会の受講希望者として推薦団体から推薦のあった者について、提出された書類を以下の観点を中心に JSP0-AT 部会が定める基準に基づき評価(点数化)し選考します。

未記入または記入内容が著しく乏しい場合は、推薦団体に確認することなく無条件で選考対象外としますのでご注意ください。

※評価の結果、各団体における推薦順位と入れ替わる場合もあります。

1. 本講習会の教育に対応できる受講希望者の基礎的な資質能力と環境について

(1) スポーツ医・科学に関する学びへの状況や意欲

(2) 過去5年間(2021年4月1日～2026年3月31日)の、スポーツ現場においてトレーナーとして【スポーツ活動中の外傷・障害予防】【コンディショニングやリコンディショニング】【安全と健康管理】【医療資格者へ引き継ぐまでの救急対応】に取り組んだ活動実績

※養成講習会参加にあたっては、カリキュラムの一部である「現場実習」が免除されるため、現場実習で本来学習すべき内容・時間数に相当する実績があるか、確認を行います。

2. 推薦団体における JSP0-AT の必要性や位置づけ

3. 推薦団体における受講希望者の JSP0-AT 取得後の活用計画

II. 留意事項

- ・ 受講希望者の推薦にあたっては、JSP0-AT の役割、3つのポリシー（アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー）を踏まえて、よりふさわしい人物を各団体のスポーツ医・科学委員会やトレーナー部会等の会議体において、公正かつ透明なプロセスによる選考を経た上でご推薦ください。なお、同一人物を複数の団体が同一年度に推薦した場合は、一団体からの推薦のみを審査対象といたしますのでご注意ください。

※ 推薦にあたっては、受講希望者が他団体から推薦を受けていないか事前にご確認ください。

※ 受講内定者が受講を辞退した場合でも、その推薦団体の落選者を代わりに内定することはいたしませんので、推薦いただく段階で本人の受講意思を十分にご確認ください。

- ・ 2名以上の推薦を行う場合、1名以上は女性を含むようにご配慮ください。

2026年1月20日

参 考

JSP0-AT の役割と理念

JSP0-AT は、1)スポーツ活動中の外傷・障害予防、2)コンディショニングやリコンディショニング、3)安全と健康管理、および 4)医療資格者へ引き継ぐまでの救急対応という 4 つの役割に関する知識と実践する能力を活用し、スポーツをする人の安全と安心を確保したうえで、パフォーマンスの回復や向上を支援する指導者です。

その指導対象は、日本代表やプロスポーツ選手などとして活動する競技者のみならず、地域スポーツクラブ、学校・大学等の運動部活動、民間スポーツ施設、地域のスポーツセンターなどでスポーツ活動をするすべての人々です。

アドミッションポリシー（資格取得希望者の受け入れに関する方針）

JSP0 は、上記の JSP0-AT の役割を理解の上、「スポーツ関係機関・団体等と連携して、スポーツをする人の安全と安心を確保し、パフォーマンスの回復や向上を支援する意欲がある者」を、養成講習会の受講者として受け入れます。

カリキュラムポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

ディプロマポリシー(DP)を達成するために、共通科目と専門科目の 2 つのカリキュラムによる体系的な学習を促します。

共通科目	スポーツの意義と価値を理解し、幅広いスポーツ医・科学等の知識を身につける。
専門科目	スポーツ活動中の外傷・障害予防、救急対応、コンディショニングやリコンディショニング、および安全・健康管理等に関する専門的な知識と技術を身につける。

加えて、180 時間を越えるスポーツ現場での実習を通じて、共通科目および専門科目で身につけた知識と技能を実践に発展させるように促します。

ディプロマポリシー（JSP0-AT 認定に関する方針）

JSP0-AT の教育カリキュラムを修了し、JSP0 公認スポーツ指導者共通の資質能力（思考・判断、態度・行動、知識・技能）に加え、次の資質能力を身につけた者に JSP0-AT の資格を付与します。

知識・技能	スポーツ医・科学の知識を有し、スポーツ現場においてスポーツをする人の安全と安心を確保し、パフォーマンスの回復や向上を支援するための技術を有する者
思考・態度	・自らの役割を遂行するために、常に学び続けることができる者 ・科学的根拠に基づいたスポーツ環境の構築に寄与できる者 ・多様な人材と、有機的に連携できる者